

お知らせ

～ バンコマイシン腸球菌（VRE）感染防止対策について ～

2019年12月バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）が入院中の患者様から検出されましたので、当該病棟の全ての患者様に検査を行いました。まだすべての患者様の検査の結果が出そろっておりませんが、現在数名の方に便検査でバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）が検出されています（保菌者といいます）。しかしVRE感染症を発症された方はおられません。

今後の対策として、4日以上の間入院が決まった患者様全員に行う入院時検査、保菌がわかった患者様の専用病室の確保と接触感染予防策、病院内清掃の徹底などの感染対策を保健所など外部の方の意見も聞きながら進めていきます。

患者様、ご家族の皆様には感染対策への理解とご協力をお願いいたします。

VREとは

ヒトの腸内にいる一般的な菌で腸球菌という菌があります。VREとは「バンコマイシン耐性腸球菌」の略称で、本来効くはずのバンコマイシンという抗生物質が効かなくなった腸球菌です。

VREの病原性は非常に弱いので健康な人が保菌をしても、感染して病気を起こすことはありません。しかし、免疫不全や栄養状態の悪い人では感染して病気を起こすことがあります。

VREは接触感染によって広がります。VREの保菌者の便に排出されたVREが保菌者の手からほかの人への直接的感染、あるいはベッド柵、ドアノブなどの環境を介した間接的感染により伝播していきます。

VREはインフルエンザのように咳やくしゃみではうつりませんので、感染予防の対策にはマスクは不要です。手洗いが最も有効な予防手段です。食事前やトイレ使用後の手洗いの徹底をお願いいたします。

病院長